

公共施設管理の財源は

基金や過疎債などで持続的に

質問 公共施設の計画的な維持管理を行う上で財源確保が重要と思うが、その見通しはどうか。

答弁 公共施設等整備基金や国庫支出金をはじめ、過疎債の借入れ、財政調整基金などの活用を図り、持続的な

財源確保に努める。
質問 安全性や維持管理費用などを考え、廃止の検討が必要と思われる市営住宅からの住み替え対応はどうか。

答弁 老朽化が進む市営住宅から他の市営住宅への住み替え時の引越しを事業者等に委託した場合は10万円を上限に費用を補助している。家賃が以前より高額となる場合には5年間で段階的に本来の金額となるよう激変緩和措置をしている。

質問 学校施設の更新に対する考えはどうか。

答弁 本年6月1日現在、本市の児童生徒数は1024人で、今後も減少が見込まれ

る。施設更新は、財源の確保とともに児童生徒数や学校の実態を勘案しながら検討する。

景観条例の効果は

質問 本市景観条例の効果と今後の考えは。

答弁 市立図書館や市民文化会館などは、まちなみと調和したデザインとし、公園なども憩いの空間として配置している。中心市街地の一部は電線を地中化するなど、より良好な景観形成を図ってきた。今後も便利さと良好な景観づくりを両立したまちづくりを進める。

質問 県指定有形文化財「旧吉田家住宅主屋」に対する考えは。

答弁 旧吉田家住宅主屋は本市の歴史を後世に伝える貴重な文化財であり、重要な誘客資源として復元事業を進めている。今後は無電柱化計画を推進するなど、良好な景観形成を図り、周辺の土地利用の促進と景観づくりをあわせて進める。



用途廃止・解体予定の市営住宅



中野 貴徳
(翔 成)

ワクチン接種の見通しは

高齢者は7月中に完了の予定

質問 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種予約受付での、反省や課題は何か。

答弁 医療機関の窓口でも

混雑があったが、安心して接種できる体制を構築する。また、65歳以上の市民への接種は7月中におおむね完了見込

みである。
質問 64歳以下の接種方針はどうか。

答弁 効率的接種に努め、現在の体制を継続する。

質問 本市のPCR検査の実施の考えはどうか。

答弁 PCR検査は非常に重要である。抗原検査キットの購入を進めている。

答弁 飲食12、配送3事業者が参加し、食材仕入れ先を含め、異なる業種が連携しており、地域活性化にも期待している。

質問 消費者アンケートで「たかたのゆめ」の認知度が95%と高いが、「値段が高い」との理由で購入割合が8%となっている。何らかの方策が必要ではないか。

答弁 本年度より学校給食の全量を「たかたのゆめ」に切り替えた。市内飲食店には動機づけが得られる方策を検討していく。

新庁舎の課題は

質問 新庁舎1階の売店やATMの設置予定はどうか。

答弁 売店は昼時間を中心に営業している。ATMは金融機関にお願いしているが、実現できていない。
質問 市保健福祉総合センター業務は本庁に移ったが、活用はどうなっているのか。



文部科学省公式プロモーション動画より

学校の働き方改革は

時間外縮減だけでなく慎重に

質問 本市における学校の働き方改革プラン策定はどうか。

答弁 時間外勤務の数値的

な縮減だけに焦点を当てるのではなく、慎重に検討する。管理職には、数字の上下だけに一喜一憂するのではなく、

一人一人の教員の状況を見極め、適切な支援をしていたいただきたいということも含めプランに組み入れていきたい。

質問 特別支援教育支援員の活用についてはどうか。

答弁 市内小中学校9校に包括業務委託社員17人を配置している。学校生活上の介助や児童生徒に対する安全確保等の学習生活のサポートを行っている。

質問 支援員の業務が決まっていることで、教員、支援員ともに働きにくいということはないか。

答弁 包括業務委託社員へは学校から直接業務の指示ができないことから、学校長の

方針などが伝わるよう調整している。働く方々の身分保障なども含め雇用形態を考えている。

質問 ICT（情報通信技術）支援員の配置はどうか。

答弁 学校教育課の職員と教育研究所の指導主事と担当しており、ICTに関わる学校の取り組みが円滑に進むよう支援している。

質問 職員室等へのエアコンの設置についてはどうか。

答弁 学校からの要望もあるが、財源が課題となっている。財源を含め検討していきたい。

資源ごみ削減は

質問 県は環境に配慮した事業者を「エコショップ岩手認定店」と認定している。これら事業所と連携し、店頭回収を活用した資源ごみ減量の取り組みについてはどうか。

答弁 本市にも認定店があることから考えていきたい。